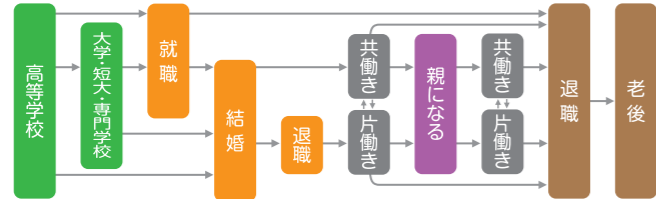


# ファイナンシャルプランナーと学びましょう！ 「生活設計とリスクへの備え」

空欄に当てはまる言葉を考えましょう！ (答えは最終ページ)

## Q.1 生活設計とお金 ～将来について考えてみよう～

### 【1】さまざまなライフコース



### 【2】ライフイベントにかかる費用

- ①結婚にかかる費用  万円  
※リクルートマーケティングパートナーズ「ゼクシィ結婚トレンド調査 2016」
- ②一軒家を購入するのに必要な費用  万円  
※住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」(2015年度)
- ③子ども一人にかかる教育費  万円  
※文部科学省「子供の学習費調査」(平成26年度)  
※セールズ手帖社保険FPS研究所「ライフプランデータ集」(2016年版)

### 【3】まとめ

と  は、  
セットで考える必要がある。

## Q.2 リスクへの備え ～3つの保障を理解しよう～

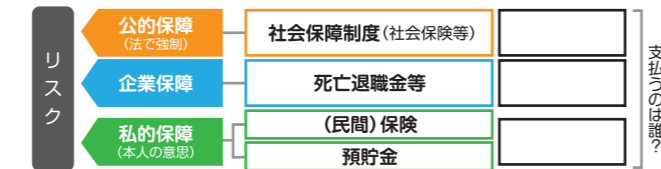
### 【1】リスクとは何か

リスクとは、  
で、起きるとお金がかかること。

### 【2】生活設計に重大な影響を与えるリスク

- ①交通事故の年間発生件数 536,899件 約  秒に1人  
※警察庁「交通事故発生状況」(平成27年)
- ②1日平均新入院患者数 43,171人 約  秒に1人  
※厚生労働省「医療施設調査・病院報告」(平成27年)
- ③65歳までに亡くなる人の割合 男性:約  人に1人  
女性:約  人に1人  
※厚生労働省「簡易生命表」(平成27年)

### 【3】リスクに備える3つの保障



### 【4】まとめ リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。

と企業保障で不足する部分を  
 で補う。

## Q.3 公的保障と私的保障 ～国からのサポートと自分たちで準備するもの～

### 【1】社会保障制度の概要

制度	主な保障の内容
1. 公的 <input type="text"/> 保険	病気やケガにかかる治療費
2. 公的 <input type="text"/> 保険	老後・障害状態時・遺族の生活費 など
3. 公的 <input type="text"/> 保険	介護サービス(訪問介護など)の費用
4. <input type="text"/> 労働者 <input type="text"/> 害補償保険	仕事でのケガ等の治療費
5. <input type="text"/> 保険	失業時の生活費

### 【2】困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう

状況	制度
定年退職して収入が無くなった	公的医療保険
会社が倒産し、失業した	公的年金
介護が必要な状態になった	公的介護保険
一家の働き手が亡くなった	労働者災害補償保険
病気で入院した	雇用保険
仕事でケガをした	

### 【3】預貯金と保険

イメージ	預貯金	保険
特徴	さまざまな目的のために貯める	特定の損失に備える
メリット	●貯めたお金は <input type="text"/> に使うことができる ●途中で引き出しや貯めるペースが自由 ●預けた金額に応じて利子がつく	●途中で <input type="text"/> のことがあつた場合、 <input type="text"/> 決められた金額を受け取ることができる
デメリット	●途中で万が一のことがあつた場合などに、必要な金額が貯まっているとは <input type="text"/>	●決められた金額を保険料として支払う必要がある(支払ったお金は一般的に戻ってこない)

※①預貯金は利子や税金などを考慮しない金額。②保険料は男性(30歳)契約で、保険期間10年、保険金額1,000万円の定期保険の例。実際の保険料は、保険種類や契約内容、生命保険会社によって異なる場合があります。

### 【4】生命保険と損害保険

	生命保険	損害保険
対象	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受取額	あらかじめ約束した金額(定額保障)	事故により発生した損害額(実損填補)
備えられるリスク	●万が一(死亡) ●病氣・ケガ など	●交通事故 ●火事 ●台風や地震 など

### 【5】事例「足の骨折で入院したら」

ゆうとさん(23歳)は、友人とスノーボードをしているときに、足をひねる状態で転倒しました。レントゲン検査の結果、ねじったように骨折しており、翌日手術を行いました。そして22日目には無事退院をすることができました。このとき、医療費などはいくらかかったでしょうか。

マイナス 必要となるお金	
医療費等(初診料・処置料・入院諸費用など)	約171万円
その他(家族の交通費やその他雑費)	約8万円
合計	約179万円

プラス 入ってくるお金	
公的保障(公的医療保障)	約164万円
合計	約164万円

※生命保険文化センター「医療保障ガイド」(2016年9月改訂版)

### 【6】事例「もしも、働き盛りの世帯主が亡くなってしまったら」

山田さんは今年40歳。妻(38歳)はパート勤務で、長女(10歳)・長男(8歳)がいます。もし山田さんが亡くなってしまった場合、遺族の生活費や教育費などこれから必要になるお金はいくらになるのでしょうか。

マイナス 必要となるお金	
遺族の生活費(50年間)	約9,070万円
子どもの教育費(2人分)	約2,060万円
その他(住居費・葬儀費用など)	約1,600万円
合計	約1億2,730万円

プラス 入ってくるお金	
公的保障(遺族年金・妻の老齢年金)	約6,450万円
企業保障(死亡退職金)	約400万円
合計	約6,850万円

※生命保険文化センター「ほけんのキホン」(2016年7月改訂版)

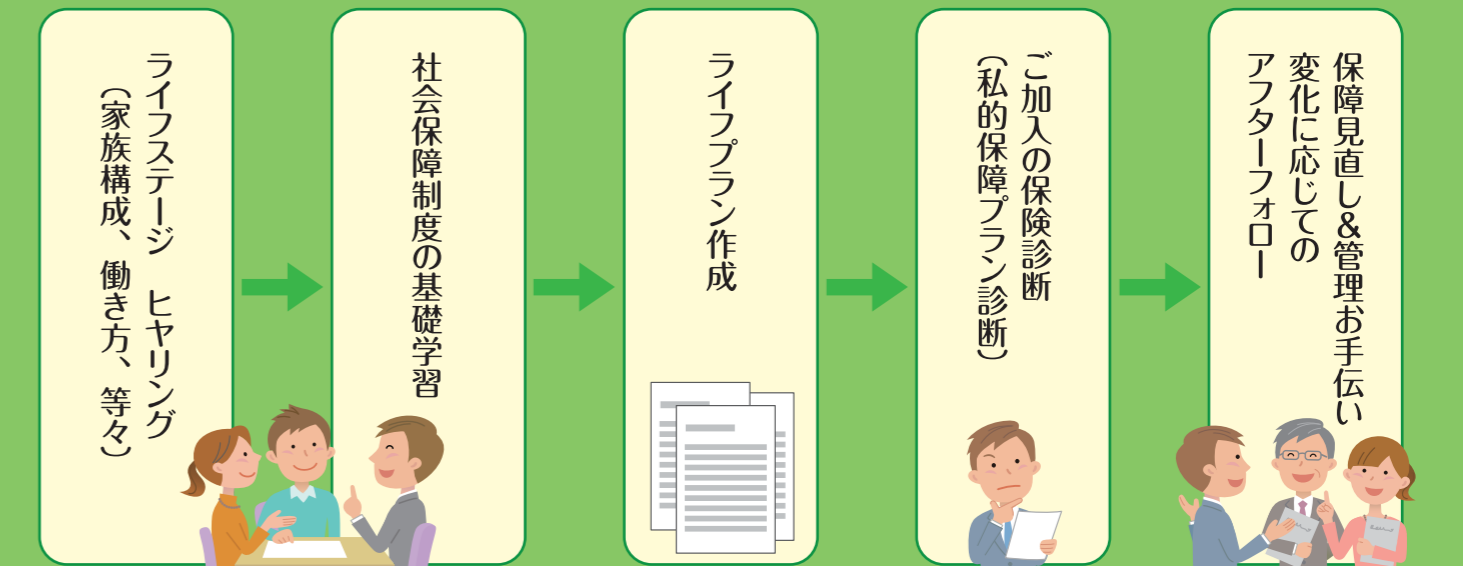
### 【7】まとめ

家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。 に応じて、リスクへの備えを考えよう。

## 保険見直し相談会 開催

※スケジュール調整が可能な場合、その他の曜日でも相談可！  
059-232-3498(代表) クローバー総合保険事務所「保険見直し希望」とお伝えください。

毎週  
土曜日  
要予約



ご自身やご家族のライフステージに合っているかチェックすることが大切です。

ご相談はお気軽に... クローバー総合保険事務所

☎059-232-3498 ✉info@clover4968.com